

2023年6月23日

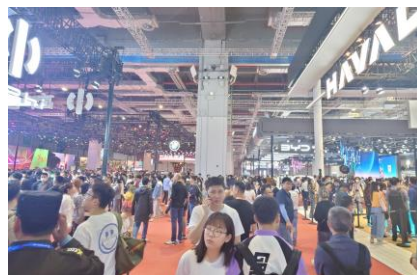
## 第20回上海国際自動車工業展覧会（上海モーターショー）について ～中国メーカーの新エネルギー車（NEV<sup>1</sup>）及び車載電池の展示を中心に～

上海事務所長 末永 尚也

### 1. 開催概要

上海モーターショーが2023年4月18日～27日の期間、上海市の国家エキシビション・コンベンションセンターにおいて開催された。本会は北京モーターショーと隔年で交互に開催されるが、2022年の北京が新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止されたため、前回2021年4月の上海モーターショー以来の開催となった。

出展企業数は約1,000社、展示面積は36万㎡を超え、約91万人が来場<sup>2</sup>。筆者は一般公開前の4月19日に現地を視察したが、会場は大変な賑わいで熱気に溢れていた。



(写真)会場の様子

### 2. NEV や車載電池の展示について

主催者発表によると、展示総数1,413台のうちNEVが513台を占めており、多くの完成車メーカーがNEVをブース最前面に展示し積極的にPRしていた。

日系メーカーも、本田は展示車両をすべてNEVとし、トヨタや日産は新型NEVやコンセプトカーを本会で世界初公開するなど、中国市場における急速なNEVシフトが展示内容でも明確に感じられた。

日産のブース担当者によると、中国市場はアウトドア志向の高まりなどからSUVの人気上昇が顕著とのことで、2年前と比較して、展示車のSUV比率が高かったのも印象的であった。

また、各社のバッテリー関連技術にも注目が集まった。車載電池で世界最大手の寧徳時代新能源科技（CATL）のブースでは、多くの来場者が同社のバッテリー自動交換システム（EVOGO）の実演に見入っていた。



(写真)CATLブースのバッテリー  
自動交換システムの展示

筆者は日系メーカー及び、中国の主要EVメーカーのブースを中心に視察を行

<sup>1</sup> New Energy Vehicle の略。中国における電気自動車（BEV）、プラグインハイブリッド（PHV）、燃料電池車（FCV）の総称。

<sup>2</sup> 2019年に東京ビッグサイトで開催された東京モーターショーは展示小間面積約3万㎡、出展企業数192社、入場者数130万人

ったが、中国 EV 最大手の BYD をはじめ、新興の蔚来 (NIO)、小鹏 (Xpeng) といった EV 市場で先行する中国メーカーのブースに人が溢れかえっていたのと比較すると、日系メーカーのブースはやや来場者数が少ない印象を受けた。



(写真)BYD ブースの様相

### **3. 中国の NEV 市場の状況と今後について**

中国の 2022 年の乗用車新車販売台数は前年比 9.5%増となる 2,356 万台で、うち NEV は 689 万台と日本国内の全新車販売台数 (約 420 万台) を上回った。自動車販売に占める NEV の比率は初めて 4 分の 1 を超えた。

一方日系主要メーカーはいずれも前年実績を下回り、トヨタ自動車は 10 年ぶりのマイナスとなる約 194 万台、本田は 12%減の約 137 万台、日産自動車は 22%減の約 105 万台となるなど、NEV 開発で先行する中国メーカーがシェアを伸ばし、ガソリン車主体の日系メーカーの販売は厳しくなりつつある。

中国政府は引き続き NEV 導入を推進しており、2022 年末までの予定であった NEV の購入税免除措置<sup>3</sup>も 1 年間延長された。また、2022 年 12 月時点での中国の充電インフラ設備保有量は 521 万台で、NEV 保有台数 1,310 万台として計算すると、充電スタンド 1 台あたりの NEV は 2.51 台となるなどインフラ整備も進んでいる。これらを背景に、中国市場では NEV シフトがさらに進展していくことが予想される<sup>4</sup>。

トヨタは EV 事業を総括する専任組織を新設し、EV 年間世界販売を 2026 年までに 150 万台、30 年までに 350 万台とする計画で、巻き返しを図る。

同社の佐藤社長は「まず今やらなければいけないのは EV としての基本性能をしっかりと作り込み、その上で特に知能化に対して付加価値を実現していくこと」と述べている。

福岡県は、「世界に選ばれる電動車開発・生産拠点の形成」、「CASE<sup>5</sup> に対応したサプライヤーの集積」などの目標からなる「北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進構想」を地域の力を結集し総合的に推進しており、当事務所としても、中国市場の CASE の動向を中心に、引き続き情報収集に努めていきたい。

<sup>3</sup> 中国国家税務総局によると、2023 年第一四半期、優遇政策を受けた NEV の販売台数は全国で 125 万 7000 台に達し、NEV 購入税免除額は 212 億 4,000 万元 (約 4,248 億円) に及んだ。

<sup>4</sup> 三菱 UFJ 銀行がまとめた中国の普及見通しによると、2035 年の国内新車販売に占めるパワートレイン別の比率は、内燃機関車が 0%、燃料電池車 (FCV) が 1%、ハイブリット車 (HV) が 32%、EV が 51% となり、NEV (FCV,PHV,EV) が 67% を占めると予測されている。

<sup>5</sup> 「C (Connected = インターネットと車両の接続) A (Autonomous=自動運転) S (Shared Service=シェアリング) E (Electrification=電動化)」